



Kano H. photography

—動画で学ぶ—

カメラの知識 ～応用編③～

Presented by
Kano Hayasaka





今日の学び

カメラの知識～応用編～

1. レンズの基礎知識
2. レンズの特性と使い分け
3. その他



1. レンズの基礎知識



レンズの基礎知識

絞り=F値 レンズの中にある窓でコントロール

F値小さい → ボケる！

- ①明るさのコントロール
- ②ボケ感のコントロール



開放

絞り込む

明るくなる
ボケる

暗くなる
ボケない



最小 F1.4 F2 F2.8 F4 F5.6 F8 F11 F16 F22 最大

集合写真
前後差がある被写体
に注意



レンズの基礎知識

F値の意味とは？

F1.4 F2 F2.8 F4 F5.6

F値が1段大きくなる＝光量が1/2倍になる。

※1段ではなく、1/2段、1/3段絞りに設定可

- 開放絞り(＝F値最小)→ 画質の低下に注意
- 絞り込み → 回折現象(小絞ボケ)に注意

被写界深度とは？

- 被写界深度が浅い
＝ボケが大きい
- 被写界深度が深い
＝ピントが広範囲に合う





レンズの基礎知識



最短撮影距離

距離基準マークから被写体

- 最短撮影距離よりも近い場所の被写体にはピントを合わせることができない。
- 使用しているレンズが被写体にどれくらい近づいて撮影できるかを知っておくと便利。
- 最短撮影距離は、使用するレンズごとに異なる。

例) AF-S DX NIKKOR 18-55mm F3.5-5.6G VR
最短撮影距離は0.28 m (「∞～0.28m/0.92ft」)



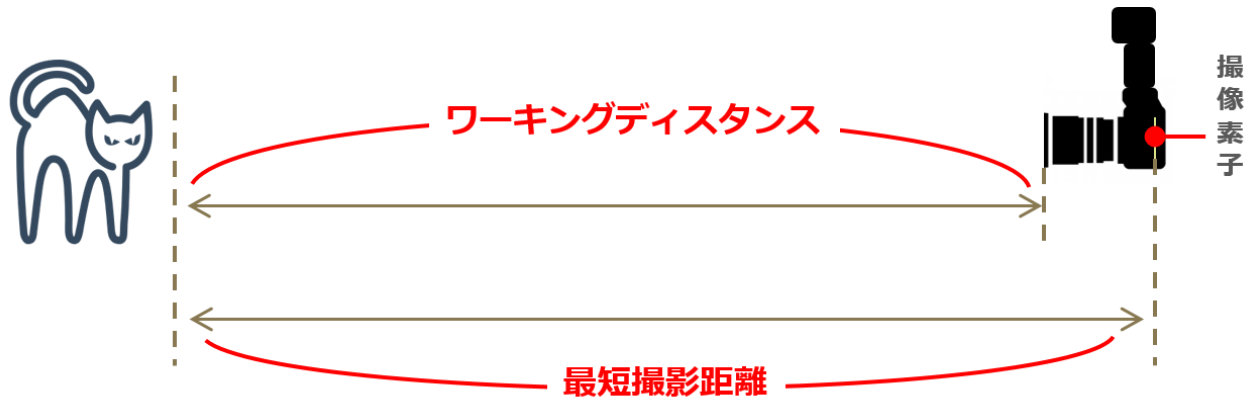


レンズの基礎知識



ワーキングディスタンス

レンズから被写体





フレア・ゴースト



逆光の扱い

- 太陽が高い位置だと問題ないけど、低い位置の逆光は扱いづらい。
- 低い位置は明暗差強い→フレアが入る。その反面、アンバーでドラマチックな光。

フレア



ゴースト



防ぐ方法

レンズフードを正しく着用する。
※ケラれるので注意

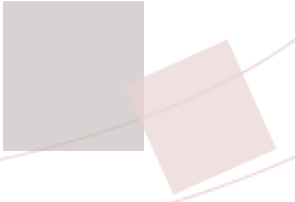


2.

レンズの特性と使い分け



レンズの特性と使い分け



ズームレンズの種類

F値固定タイプ

- 明るくボケやすい。
- 最小F値が変わらないから明るさが変わらない。
- 重くて高価

F値変動タイプ

- F値固定に比べて暗くてボケにくい
- 最小F値が変わるため、ズームにより明るさが変わってしまう。
- 変えたくなければズーム側の最小F値にするしかない。
- 軽めで安価なものが多い。





レンズの特性と使い分け



広角レンズ

特徴

- 遠近感が強調される
→ **パースペクティブ (遠近感)** 効果を出しやすい。
→ **デフォーメ効果** を出しやすい
- ボケにくいため **パンフォーカス** 向き

効果的な使い方

- 狭い室内を広く見せたい時
- 建物の高さを強調したい時
- 印象を強めたい時
- 風景撮影など広がり強調したい時
- 遠近感を生かしたい時
- パンフォーカスで撮りたい時
- 人物全身写真で足を長く撮りたい時

- 24mm以下
- ピントの手前から1/3あたり
- F11~16





レンズの特性と使い分け



広角レンズ





レンズの特性と使い分け

広角レンズ

注意点

- 周辺に歪みがでる。
→ 人物の顔は中央に配置
→ ゆがみを生かして足長効果
- ゴースト・フレアが出やすい
- 周辺光量低下しやすい。
- 開放の画質が良くない
※ 明るい日中F8～F11位で使うのが安心



16mm 超広角レンズ



35mm 広角レンズ

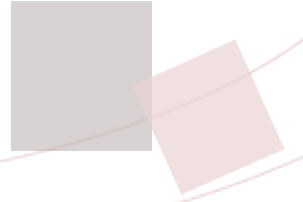


70mm 中望遠レンズ





レンズの特性と使い分け



望遠レンズ

特徴

- 遠くのものを大きく写すことができる
- 圧縮効果で背景を引き寄せることができる
- 狭い画角なので主役をひきたてる。
- ぼかしやすい。

効果的な使い方

- 運動会や学芸会など被写体に近づけない時
- 大きくぼかしたい時
- 周囲の余計なものをなるべく写したくない時





レンズの特性と使い分け

望遠レンズ



© Kano Hayasaka



© Kano Hayasaka



レンズの特性と使い分け



広角・標準・望遠レンズの撮り比べ



16mm 超広角レンズ



35mm 広角レンズ



70mm 中望遠レンズ



200mm 望遠レンズ

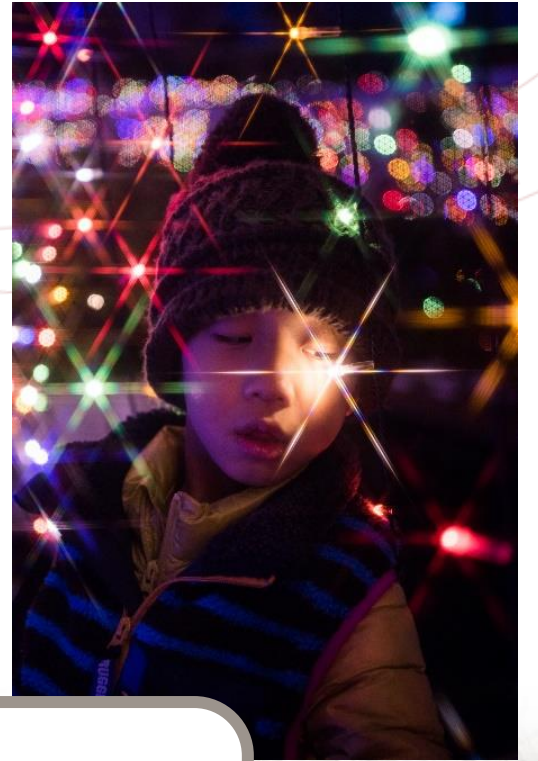


フィルター

特殊効果フィルター

特殊効果フィルター

例) クロスフィルター、ブラックミスト



PLフィルター(偏光フィルター)

- 被写体からの反射光をカットして、被写体本体の鮮やかな色を表現
- フィルターは回して調整
- 角度により効果が異なる。

※ネイチャーフォトで多用

例) 青空の最も効果が高いのは、太陽とカメラを結んだ位置から90度の角度。水面反射をカットする場合は、水面に対して30~40度の角度。

NDフィルター

- 入射光をカット。露光量を減らす。

ND2 光量1/2
ND4 光量1/4
ND8 光量1/8





3.

その他



その他



三脚の使い方と注意点

- 手振れ補正をオフにすること。
- 水平・垂直は水準器を利用する。
- 三脚の基本的な扱い方

今後の自習の仕方





その他



おすすめカメラ本のご紹介





その他



おすすめカメラ本のご紹介

